

調べるのって どうやるの？

～調べ物をするために青梅市の図書館に来るみなさんへ～



図書館に来たけど、本がたくさんあって、どこにあるのかわからなかったり、コンピューターで調べてみただけ、ピッタリの本がなかったりしたことはないかな？

そんな時、ちょっとしたコツを知っていると、うまくいくんだ。

そんな調べ方のコツを「ウサギ」を例にして紹介しよう。



◎はじめに（図書館に行く前の準備）◎

図書館に調べ物をしに行く前に、調べることについて整理しよう。

- ① 調べたいことを紙やノートに書いてみる。
- ② そのことについて自分が知っていることも書いてみる。
- ③ よくわからないことには「？」マークをつけておこう。後で役に立つよ！
- ④ 図書館に行く時の持ち物を確かめよう。



調べたいことを書いた紙やノート・えんぴつ・消しゴム・利用者カード・お金（コピーに必要な）など。



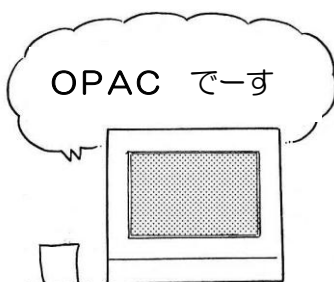
～用意はいいかい？さあ、図書館へレッツ・ゴーだ！！～

◎図書館で調べてみよう◎

青梅市の図書館にある本を調べるコンピューターは「OPAC」っていうんだ。調べ物をする時に調べたいことばを入れると、本の名前などからいろいろな本を探してくれる、とても便利な機械なんだ。

でも、入れることばによっては、全然探せなかったり、逆に本がありすぎて困ってしまうことがあるよね。

そんな時、こんな調べ方があるからやってみよう。



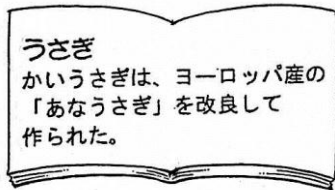
☆☆☆いろいろな やり方(調べる方法)☆☆☆

☆やり方その1 事典でしらべる☆

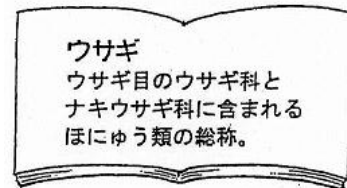
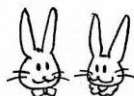
事典で調べると、別の呼び方や、英語のことば・種類・説明がのっているんだ。

調べる時には、**2つ以上の事典で調べよう**。事典によって書いてあることがちがうことがあるからなんだ。そんな時は別の事典を見てみよう。時代によって、内容が変わってくることもあるし、まだ正しい内容が決まっていないこともあるからなんだ。

<A事典>



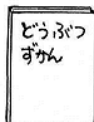
本によって
ちがいがあふんたぬ



<B事典>

調べたことがたくさんありすぎてメモを取るのが大変な時は、必要なところだけコピー機を使ってコピーをとったりしよう。

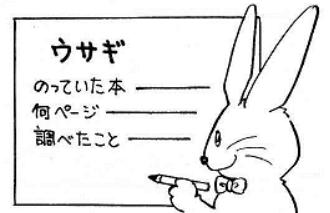
その時に、**調べた本の名前とのっていたページを書いておく**といいよ。



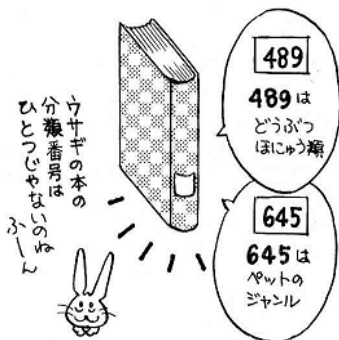
事典で調べた内容の中から、本がありそうなことばを見つけよう。

このことばを「**キーワード**」というんだ。

「キーワード」を使ってさがしてみると、いろんな本が見つかるよ！



☆やり方その2 分類番号でさがす☆



図書館では、本がさがしやすいように、本の内容ごとに、番号をつけて順番に並べているんだ。この番号のことを「**分類番号**」というんだよ。

図書館の本の背表紙にラベルがついているのを知っているかな？そのラベルに「**分類番号**」が書いてあるんだ。

見たい本の「**分類番号**」がわかったら、**その本をさがす時、同じ分類番号の他の本も見てみる**といい。コンピューターでさがせなかったものが、新しく本棚で見つかるかもしれない。

☆やり方その3 本をさがす本を使う☆

調べたいことが、どの本にのっているかを調べる本があるんだ。「**レファレンス・ブック**」っていうんだよ。

その本を使うと、調べたいことがどの本の何ページにのっているかまでわかるんだ。

もし、調べたいことがのっている本が見つからなかったら、ここでも「**キーワード**」が役に立つ。いろいろな「**キーワード**」を使ってさがしてみよう。



調べ物コツのコツ(調べ方のツボ)

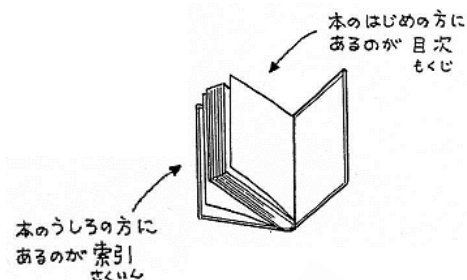
* 目次と索引で本の内容がすぐわかる *

事典や調べ物の本には、目次と索引というページがあるんだ。

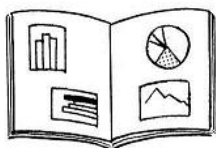
目次…たいていその本の最初であって、内容を書いてある順番に紹介するところ

索引…その本の最後であって、内容が五十音順（あいうえお順）に並んでいて、その内容が何ページに書いてあるかがわかる

…というわけで、本を全部読まなくても、目次と索引を見れば、その本にどんなことが書かれているのか、だいたいわかるんだ。



* 調べ物に使える本の特徴 *



国語辞典：日本語のことばの意味がわかる

漢字辞典：漢字の読み方や意味がわかる

百科事典：いろいろなことについて、説明がのっている。

動物事典・植物事典など：専門のことについて詳しくわかる

図鑑：写真や絵などが説明つきでのっている

年鑑：その年に起こったことについてわかる

統計：いろいろなことの移り変わりや比較がグラフや表でのっている



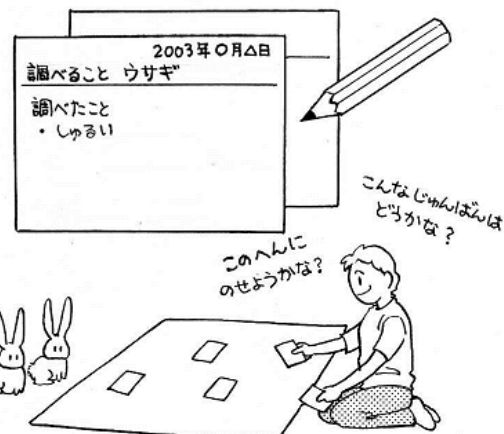
* 調べ物カードをつくる *

調べたことをまとめるのに、カードを使うと便利だ。

- ① 紙の一番上に「調べること」を書く。
- ② 調べたことを書く。
- ③ 一番下に調べた本の名前とページを書く。

このカードを、調べた内容ごとに書いていくと、後でまとめる時に自由に組み合わせることができる。

たとえば、^{かべ}壁新聞の記事の場所を決める時とか、発表の順番を決めたりする時に、とても便利なんだ。



* 1冊の本で満足しないで *

調べ物は1冊の本だけで終わらせてしまわないで！なぜって、その本に書いてあることが本当に正しいかどうかはわからないからさ。本が古くて今は新しいことが発見されているかもしれないし、詳しくのっていなかったり、まだ答えがひとつに決まっていないこともあるかもしれない。だから、**調べ物は、2冊以上の本を見たほうがいいんだ。**そうすれば、正しいかどうか、もしちがっていたら、どうちがうのかわかるから。それも調べ物のおもしろさなんだ。

＊調べ終わったら本はもとのところへ。借りた本は返す日まで（期限内）に返そう＊

調べたいことがのっている本を見つけたら、**必要なところや本の名前、ページをノートに書いておこう**。終わったら、**本はもとのところに戻しておこう**。この時も「**分類番号**」が役に立つよ。同じ番号のところに戻せばいいんだ。

図書館にはいろんな人が来る。君と同じことを調べに来る人もいるかもしれない。だから、本は使ったらすぐに戻しておいてほしいんだ。

調べたいことがのっている本を借りたら、**かならず返す日（期限）を守ろう**。その本を借りたくて待っている人や、調べたいことがあってその本が必要な人もいるからね。



＊調べる時はよゆうをもって＊



調べたいことがあっても、時間がないときちゃんと調べられなかったり、ぴったりの本があっても貸出中ですぐに調べられないこともあるよ。**調べ物をする時は、早めに図書館で本を探し始めよう。**

＊わからないことは、図書館の人にどんどん聞こう＊

自分で調べてみたけど思うように調べられなかったり、どう調べかわからない時は、カウンターにいる図書館の人に聞いてみよう。調べ方や調べ物をするのに必要な本を、紹介してくれるんだ。

これを「**レファレンス・サービス**」っていうんだ。

その時に、**自分が調べたいことを書いた紙やノート、調べ物カード**を持って行くと、話がうまく伝わるよ。



…どうかな？調べ物のコツはつかめたかな？

「調べ物」というと、宿題だと思って気が重くなってしまう人もいるかもしれない。

でも、ふだんだって知りたいことが出てくることがあるよね？そんな時に調べてみて、新しいことがわかってうれしいし、楽しいよね！



調べ方がわかれば、ユウウツな気持ちもへるんじゃないかな？

次の調べ物からは、図書館に来て、
自信を持って調べられるよ！

